



財務4表を公開します

市の決算は、歳入と歳出の収支会計で表されており、現金の動きが分かりやすい反面、保有している資産や借入金などを含めた財務状況が分かりにくいとされています。

そこで、企業会計的な視点で、市の財務状況が分かるように、小牧市の全ての会計と、土地開発公社、体育協会（現スポーツ協会）、都市開発株式会社、こまき市民文化財団および4つの一部事務組合などを含めた会計で財務4表を作成しました。

これを見ると
市の財政状況が
一目瞭然！



Check!

財務4表とは

- ① 貸借対照表
- ② 行政コスト計算書
- ③ 純資産変動計算書
- ④ 資金収支計算書

これら4種類の財務書類のことで、「資産」や「負債」の状況が把握しやすくなり、より多くの財務情報を市民の皆さんにお知らせすることができます。

① 貸借対照表

住民サービスを提供するための資産や返済しなければならない負債が年度末時点でどれだけあるのかなどを知ることができます。

資産 5,695 億円

市が所有する財産の内容と金額で、行政サービスの提供能力を表しています。

【内訳】 事業用資産	1,441 億円
庁舎、学校、施設など	
インフラ資産	3,517 億円
道路、河川、上下水道など	
物品	86 億円
基金	279 億円
現金預金	238 億円
その他	134 億円

負債 916 億円

借入金（地方債）など、将来世代の負担で返済していくお金です。

【内訳】 地方債等	431 億円
地方債および1年内償還予定地方債など	
退職手当引当金	106 億円
その他	379 億円

純資産 4,780 億円

既に支払いが済んでいる資産です。

② 行政コスト計算書

資産形成につながらない行政サービス（福祉サービスやごみ収集など）の経費と、財源となる使用料や手数料などの収入を知ることができます。

経常行政コスト 1,120 億円

【内訳】 人にかかるコスト	174 億円
（職員の人件費など）	
物にかかるコスト	409 億円
（物品購入、光熱費、減価償却費など）	
社会保障費などのコスト	512 億円
（福祉サービスや子育て支援、生活保護などの社会保障給付、各種団体への補助金など）	
その他のコスト	25 億円
（支払利息など）	

経常収益 262 億円

行政サービスの利用で市民の皆さんが直接負担する使用料や手数料などです。

純経常行政コスト 858 億円

経常行政コストから経常収益を差し引いた純粋な行政コストです。

臨時損益 8 億円

純行政コスト 867 億円

純経常行政コストから臨時損益を加減した純粋な行政コストです。

令和元年度の市の財政

③純資産変動計算書

純資産が1年間でどのように変動したかを表しています。

前期末純資産残高 4,750 億円

当期変動額
+30 億円

当期末純資産残高 4,780 億円

当期変動額
30 億円の増加

下水道事業会計の法適用に伴い資産表示を合わせたことが主な要因です。

税金など	+ 498 億円
国や県などの補助金	+ 358 億円
純行政コスト	- 867 億円
その他	+ 41 億円

④資金収支計算書

行政活動を資金の流れから見たもので、会計年度内における資金の増減内訳を表しています。

前期末現金預金残高 317 億円

当期増減額
-79 億円

当期末現金預金残高 238 億円

当期増減額
79 億円の減少

業務活動収支	+ 57 億円	財務活動収支	- 19 億円
投資活動収支	- 117 億円		

借入額より地方債の返済額が上回っていることを意味しています。

投資活動収支のマイナスは、新病院建設により公共施設等整備費支出が増加したことが要因です。

※「-」はマイナスの意味
※各表中、表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計額が一致しない場合があります。

財務4表からわかること

健全

市民1人当たりの資産と負債

資産 373 万円 (対前年度 + 12 万円)
負債 60 万円 (対前年度 + 10 万円)

下水道事業会計の法適用に伴う資産表示の変更などのため資産、負債ともに増えています。

市民1人当たりの行政コスト

73 万円 (対前年度 + 3 万円)

行政コストは昨年度より増加しましたが、これは、新病院における減価償却費の増加などにより、物件費等が増加したことが主な要因です。

社会資本形成の過去および現世代負担比率

96.4% (対前年度 - 3.9 ポイント)
算式 = 純資産 ÷ (事業用資産 + インフラ資産)

市は社会資本のほぼ全てをこれまでの世代の負担で形成しており、**将来の世代への負担を抑え、負担を先送りしない健全な財務状況であると言えます。**

健全ポイント

負債比率

19.2% (対前年度 + 3.1 ポイント)
算式 = 負債 ÷ 純資産

純資産に対する負債(借入金など)の割合を示すもので、この指標が低いほど財務状況が健全であると言えます。小牧市は**全国の自治体の中でも極めて良好な状態です。**

健全ポイント

市の財政状況(財務4表)についての詳細はホームページで公表しています。

